

元祖 今年度おかげさまで。あと107日です。モリモリ書店、今年度、これにて閉店します。1年間、令和2年度 愛知教育大学附属岡崎中学校 読書だより 本音にありがとうございました。

元祖 モリモリ書店

第86話 R03.03.15(月)
「明日が好き
といえる毎日を。」

まぎとてまほ

★今回、紹介する本は、『**麦本三歩の好きなもの 第二集**』（著/住野よる、出版/幻冬舎）です。

住野よるさんの最新作にして、初のシリーズの第2作目（今回も、BiSHのモモコグミカンパニーが表紙です）。図書館司書として働く麦本三歩の何気ない日常が今回もたくさん描かれています。

今回は、初めて後輩をもつことになったり、合コンでの出会いがあったり、店先での小さな女の子との不思議な交流があったりするなど、ちょっとした日常を穏やかに描きながら、でも、その中に、はっとさせられる気づきがあるのが本書の魅力です。

すぐに言葉をかんだり、失敗をしたりする主人公の姿がほほえましいです。日常の出来事を大切にしながら生きることのすばらしさに気づかされます。あたりまえの毎日で出会う一つ一つがたまらく愛おしくなる1冊。明日もがんばろう。



カバーとめくると、こもすてきな感じになる。

「原、てがんばって形作れば、どんなに小さくても、きっと望むものになるはずだ。」 (p.221)

「明日は今日よりも、ちょっとがんばれたらいい。」 (p.391)

「私は、三歩を取っかかしいと思ったことなんて、一度もないよ。」 (p.362)

「あなた、はあなたでよくて、それを言ってもうばうことはできません。」

三歩のキャラもよ... *
住野よるさん
の書きぶりも
ほんと面白い
「好きって、
とてあてきなこ
とてあてね。」

「ふっ」と思える毎
の中にも、いざとな
れど、奇跡とかある？
それって、どうもする
なにか
てね。